

|         |   |
|---------|---|
| 科目名     | ワークライフバランスとダイバーシテイマネジメント  |
| 担当者     | 野木秀子  |
| 配当学期    | 秋学期   |
| 単位      | 2単位   |
| 授業概要    | <p>少子高齢化、人口減少、経済のグローバル化、まだ続く経済不況の中でのさまざまな問題（格差、正規非正規、過労死、貧困など）を解決する有効な手段のひとつは、仕事と生活を調和させるワークライフバランスと、さまざまな価値観をみとめ、多様性を享受するダイバーシテイマネジメントであると確信している。特に女性に関して日本は世界でも類を見ない最低レベルの活躍度である。このままでは世界のグローバル化に耐えられない状態になる。</p> <p>講義では、一部上場企業の数少ない女性役員経験者として、ITエンジニアとして、また横浜市教育委員として、おもに女性に焦点をあて、さまざまなデータから、働くことが当たり前の事実（昔からみんな働いていた）を紹介し、男性も含めてダイバーシテイ、ワークライフバランス社会をどうやって構築していけばいいのか考えていく。その際に必須となるITや、教育面についても述べる。</p> <p>さらに、講師の人脈を生かし、企業人（おもにIT系）との交流の場を設ける。</p>   |
| 授業の到達目標 | 少子高齢化社会におけるWLBとダイバーシテイの重要性と、将来の問題解決の大きな要になることを理解する。   |
| 授業計画    | <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) ワークライフバランスとは</li> <li>(2) ダイバーシテイマネジメントとは</li> <li>(3) 女性に関する様々なデータ・公的データ</li> <li>(4) 女性に関する様々なデータ・活躍している方々</li> <li>(5) 海外における男女共同参画、ワークライフバランス</li> <li>(6) 日本の非正規雇用者問題と諸外国の対応</li> <li>(7) ヨーロッパにおける社会保障制度と出生率の変化</li> <li>(8) 女性にとっての2つのE革命</li> <li>(9) 企業におけるワークライフバランスの実践（日本ユニシスカ、NTTデータ、または日立製作所などの企業訪問を行う。そこには、すでに企業で活躍している（女性）管理職も同席し、意見交換を行う）</li> <li>(10) IT業界の状況</li> <li>(11) IT革命とは、ITの活用</li> <li>(12) 家族崩壊、非正規雇用、貧困問題</li> <li>(13) 家族崩壊、世帯の孤立化状況</li> <li>(14) 解決策としてのWLBなど</li> </ol> |

|        |                    |   |
|--------|--------------------|---|
|        | (15)まとめ            |   |
| 教科書    | 特になし               |   |
| 参考文献   | 大量のため、その都度紹介、配布します |   |
| 成績評価方法 |                    | 評価基準  |
|        | 試験<br>0%           | 特に試験（筆記）は実施しません。  |
|        | レポート<br>30%        | 最終日にレポート記入と発表を行い、その内容により評価します。問題点の認識がなされているか。それに対する自身の考えが整理されているか、解決策の提案があるかなど。   |
|        | 平常点評価<br>50%       | 各回の授業における発言の積極性、意見、感想など、授業に対して、真摯に向き合っているか、自身の考えをもっているか、授業内容が理解されているか、きちんと述べているかを主眼とします。<br>また、プロジェクト期間などでの企業人との交流を積極的に行っているかも評価の対象とします |
|        | その他<br>20%         | 出席割合（無断欠席は一度たりとも許しません）  |
| 関連 URL | 大量のためその都度紹介します     |   |
| 備考     |                    |   |